

キャベドン

器提供：工房 ゆう



材料 (4人分)

キャベツ 400g	豚肉 340g	タマネギ 280g
ニンジン 80g	卵 4個	米 3カップ
トマト 2個	小ネギ 適量	油 少々

漬け込み用たれ

砂糖 大さじ 2/3 強 醤油 大さじ 1 と 1/2
みりん 大さじ 2/3 強 酒 大さじ 1 と 1/2

かけ汁

砂糖 大さじ 3 強 醤油 95cc みりん 大さじ 3 強
酒 95cc ニンニク 2片(すりおろす)

作り方

- 漬け込み用たれを作り、豚肉を漬けておく。
- 温泉卵を作る（沸騰したお湯に卵を入れ蓋をして 10 分置く）。
- キャベツは千切りにする。タマネギは薄くスライスし、塩もみをして水で洗い流す。ニンジンは細切りにしてお湯に通す。
- かけ汁の調味料を合わせて沸騰させる。
- フライパンに油をひいて豚肉を焼く。
- どんぶりにご飯と③を盛り付け、かけ汁をかける。
トマト、小ネギ、温泉卵を乗せて完成。

× 食改冒から一言 ×

生のキャベツを 100g 食べるのは大変ですが、ごはんに乗せてかけ汁をかけることでかさが減ります。野菜たっぷりですが、ペロリと食べられますよ。

健康増進課
☎ 22-5088

宝くじ助成事業で 地域活動備品を整備



地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としたコミュニティ助成事業により、「永草区」「折戸区」にエアコン、冷蔵庫、LED照明器具などが宝くじ助成金により整備されました。

このコミュニティ助成事業は、(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しているもので、今後の永草公民館、折戸コミュニティセンターを拠点とした地域の益々の活性化が期待されます。

長年の献身に感謝



▲ 菊池登喜代さん

市は「はな阿蘇美」のバラ園を長年管理してきた菊池登喜代さん(小倉)に感謝状を贈呈しました。

菊池さんは平成 12 年 4 月から令和 4 年 3 月まで 22 年間にわたり、750 種、4,500 株におよぶバラの栽培・管理を行ってきました。平成 27 年には施設への来場者数が 43 万人を超えるなど阿蘇観光の魅力向上にも大きく貢献しました。

菊池さんは「バラで少しでも人を笑顔にできたかなと思います」と振り返りました。

区長としての活躍に栄誉



▲ 阿南米夫さん

地方自治の発展に多大な功績があったとして旭日単光章を受章した阿南米夫さん(滝水)への叙勲伝達式が、5月24日に市役所で行われました。

阿南さんは平成 14 年 4 月から現在に至るまで滝水区の行政区長として地域内の連絡調整など多岐にわたる活動を続けています。

阿南さんは「これも区民の皆さまのおかげです」と謝意を述べました。

「草原の里 100 選」に選定



▲ 草原の風景

美しい草原の風景を残す地域を選ぶ「未来に残したい草原の里 100 選」に、阿蘇市の草原が選ばれました。全国草原の里市町村連絡協議会が主催。全国から 34 カ所が選ばれました。

今後 100 選をまとめた草原名鑑が作成され、保全活動に生かされます。

花の日に感謝を

6月1日、キリスト教の行事である花の日に合わせて、熊本 YMCA 赤水保育園の年長児 10 人が市職員に花束を贈りました。

まちの わだい

災害に備えて協定締結



▲ オムロン阿蘇株式会社の山中社長

5月26日、市とオムロン阿蘇株式会社は「災害時における一時避難所としての使用に関する協定」を締結しました。大規模災害の発生時、市の要請に基づき、同社の駐車場を一時的な車中避難場所として利用できるほか、携帯端末などの充電のための電力などが提供されるようになります。

危険な業務に長年従事



▲ 野尻徹さん

危険性の高い業務に従事し、国家に対する功労があったとして瑞宝双光章を受章した野尻徹さん(桜町)が、市長に受章を報告しました。

桜町出身の野尻さんは警視庁で 42 年間勤務。主に刑事としてさまざまな難事件の解決に貢献してきました。

野尻さんは「今後は阿蘇に恩返ししていきたい」と抱負を語りました。



非常食災害時に役立てて



▲ 加藤支店長

5月24日、損害保険ジャパン株式会社熊本支店が市に非常食 100 食分を寄贈しました。

同社は市、熊本トヨタ自動車株式会社と「持続可能なまちづくりに関する三者包括連携協定」を締結し、将来にわたり安全で安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを進めています。加藤和文支店長は「非常時には改めて必要なものを支援していきたい。阿蘇市の持続的発展に貢献できたら」と話しました。

水道週間に美化活動



▲ 清掃作業中の水道工事業者

6月1日から7日までの「水道週間」に合わせ、阿蘇市管工事協同組合(森和己代表理事)の 10 社 10 人が国道 2 1 2 号沿線の清掃作業を行いました。

「水道週間」は、水道に対する理解を深めることを目的に、全国でさまざまな活動が行われています。

同組合では、「水道週間」を PR しながら環境美化活動の一環として、ごみ拾いをしました。